

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

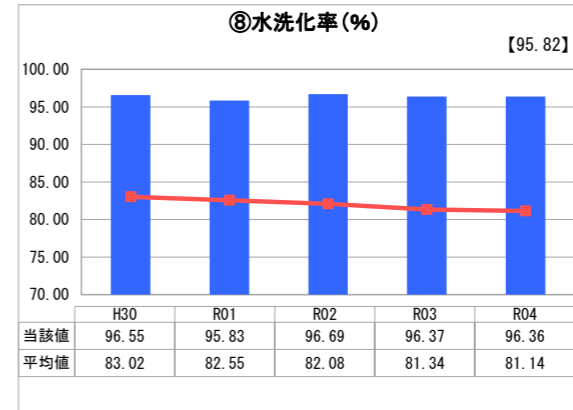
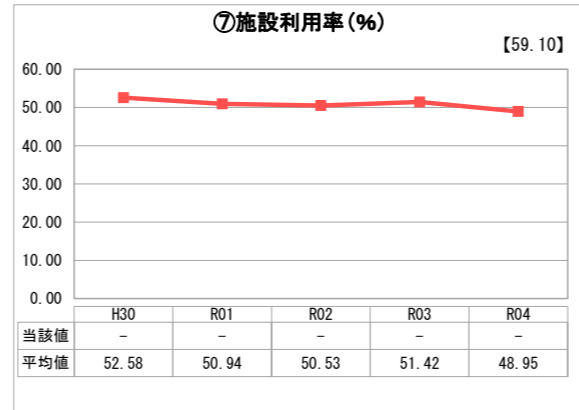
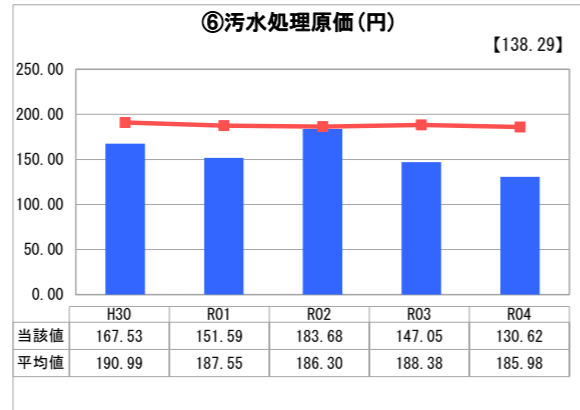
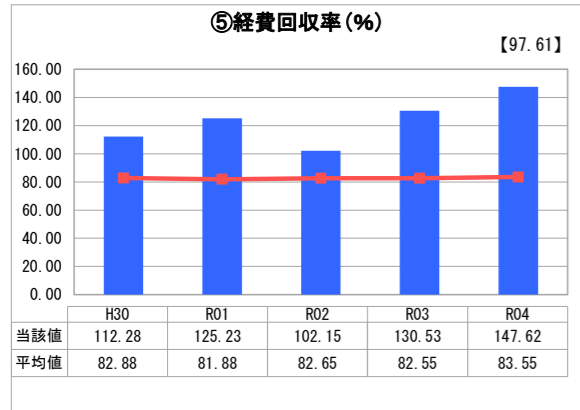
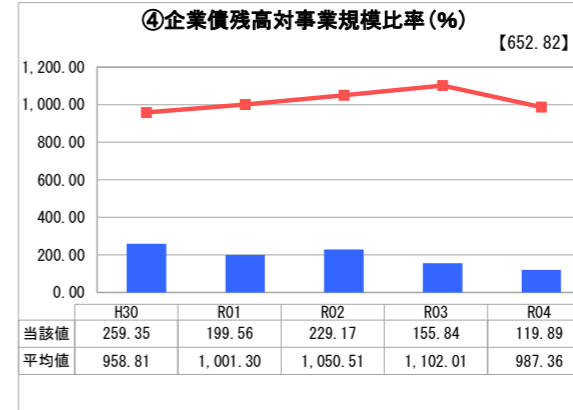
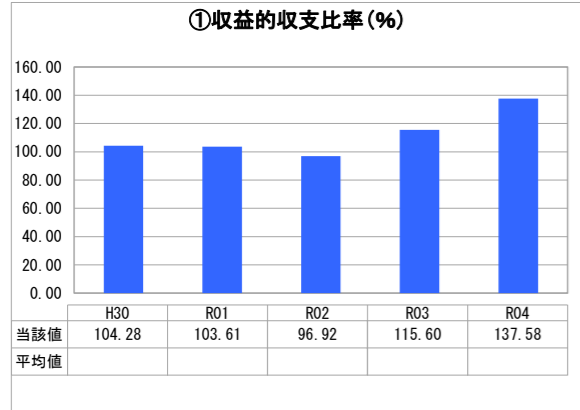
埼玉県 吉見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	14.04	101.84	2,145

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,117	38.64	468.87
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,530	0.99	2,555.56

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率  
令和4年度は令和3年度と比べ、21.98%と大幅に上昇した。これは、総収益が使用料収入及び雨水処理負担金の増加を主な要因として21,996千円増加した一方で総費用及び地方債償還金の合計額が維持修繕工事費、消費税納付額及び地方債償還金の減少を主な要因として14,962千円減少したことによる。

④企業債残高対事業規模比率  
令和4年度は前年度に比べ、35.95%減少した。全体的にも減少傾向にある。これは施設の新規建設がなく、起債発行が少ない一方で、償還が進んでおり、地方債現在高が減少しているためである。

⑤経費回収率  
令和4年度は前年度と比べ、17.09%と大幅に増加した。使用料収入の8,039千円増加と元利償還金の12,276千円減少が主な要因である。

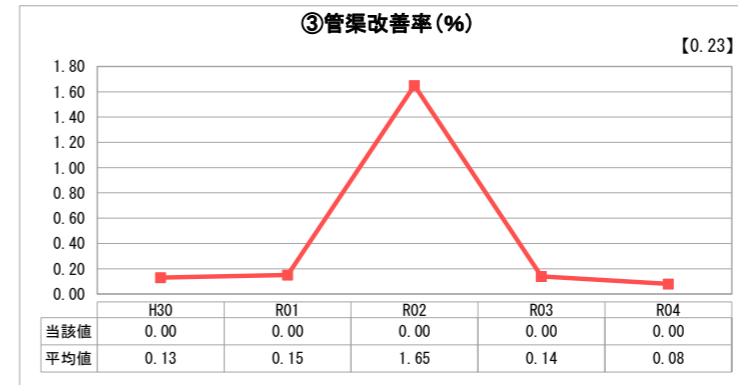
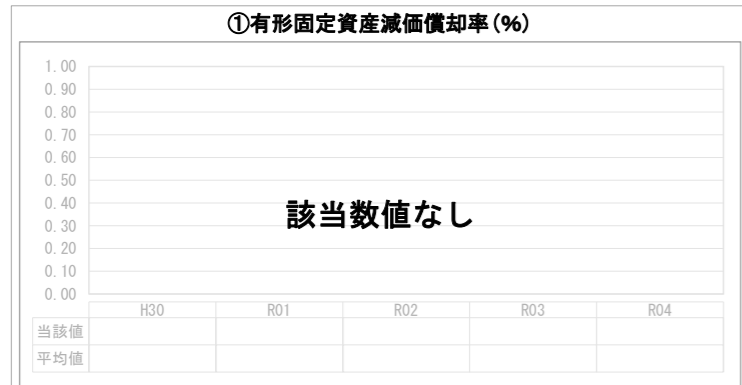
⑥汚水処理原価  
令和4年度は前年度と比べ、16.43円減少した。これは⑤のとおり、元利償還金が減少したこと及び有収水量が37,018m<sup>3</sup>増加したことが主な要因である。

⑧水洗化率  
例年と同じく95~96%台で推移している。全国の類似団体の平均を上回っている。

### 2. 老朽化の状況について

現在のところ管渠等の老朽化は見られないが、20から30年後には管渠の老朽化が生じてくると思われる。これに備えて今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努める。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

令和4年度は前年度と比べ使用料収入が増加と元利償還金の減少により、収益的収支比率、経費回収率及び汚水処理原価の数値が改善した。今後も経費節減に加え、計画的な施設の維持管理に努め、効率的で安定的な経営を実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。